

**子育てに係るポジティブイメージの浸透に向けたPR実施業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項目	内 容
1 日 時	令和8年1月6日（火）13時10分から15時45分まで
2 場 所	WE B（Z o o m）
3 出席委員	広島県健康福祉局子供未来応援担当部長 広島県健康福祉局子供未来応援課長 広島県健康福祉局子供未来応援課担当課長（ネウボラ推進担当） 広島県総務局施策形成支援チーム担当課長 広島県総務局広報課長（代理）
4 議 題	子育てに係るポジティブイメージの浸透に向けたPR実施業務予定者の選定
5 担当部署	健康福祉局子供未来応援課
6 開催方法	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 参集（オンライン開催）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 持ち回り</div>
7 議事内容	<p>提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価を得たC社（株式会社中国四国博報堂）を最優秀提案者として決定した。</p> <p>『提案者ごとの主な評価・選定理由』</p> <p>【A社：株式会社中国新聞アド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の趣旨を十分に理解し、ターゲットの行動変容に至るパーセプションチェンジに沿った独自提案も加えたPR案が検討されていることに加え、実行性も担保されていることなどは評価できる。</li> <li>・子供を持たない若者世代のキャンペーンへの参加、訴求については仕掛けが少なく物足りなさを感じる。</li> </ul> <p>【B社：株式会社電通西日本広島支社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の調査分析結果を踏まえたテーマ設定や施策前後の効果計測やリスクマネジメントに独自の分析方法を用いている点は評価できる。</li> <li>・シングル・カップル層が投稿に接触する機会を得るための取組の具体性が不十分と感じた。</li> </ul> <p>【C社：株式会社中国四国博報堂】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の調査分析結果を踏まえた企画方針を設定し、子育て層向けの投稿募集とシングル・カップル向けの投稿内容の発信について、クリエイティブなどの媒体を使い分ける提案となっており、ターゲットに応じた効果的な発信が期待できる。</li> <li>・炎上リスク対策や効果検証の方法も具体的に提示されており、きめ細かな対応が期待できる。</li> </ul> <p>【E社：株式会社日美】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的に沿った実効性のある提案とは言い難く、シングル・カップル層のこれまでのネガティブバイアスを反転させるほどのインパクトが出せるとは思えない。</li> <li>・短期間、低予算で、その効果が実現できるか疑問が残る提案であった。</li> </ul>